

胃内 pH が吸収特性に影響する経口抗がん剤と胃酸抑制薬の併用実態

政本 康成¹⁾、田村 溪²⁾、蓮井 雄³⁾、綿引 定成⁴⁾、中村 京香⁵⁾、
児矢野 なつ美⁶⁾、山口 弘⁷⁾、常世田 京子⁸⁾、永野 悠馬⁹⁾、前田 守⁹⁾、
長谷川 佳孝⁹⁾、月岡 良太⁹⁾、森澤 あずさ⁹⁾、大石 美也⁹⁾

- 1)(株)アインファーマシーズ アイン薬局 つくば天久保店
- 2)(株)アインファーマシーズ アイン薬局 千葉西店
- 3)(株)アインファーマシーズ アイン薬局 仏生山店
- 4)(株)アインファーマシーズ アイン薬局 いわき小島店
- 5)(株)アインファーマシーズ アイン薬局 水戸宮町店
- 6)(株)アインファーマシーズ アイン薬局 鹿浜店
- 7)(株)アインファーマシーズ アイン薬局 獨協医大店
- 8)(株)アインファーマシーズ
- 9)(株)アインホールディングス

【目的】 胃内 pH の上昇で吸収が低下するエルロチニブ(以下、Erlo)は、プロトンポンプ阻害薬(以下、PPI とする)や H₂ ブロッカー(以下、H₂RA とする)との併用に注意が必要である。そこで、Erlo と PPI、H₂RA の併用実績と併用回避のプレアボイド事例から、薬局薬剤師の役割を考察した。

【方法】 2017 年 4 月から 2020 年 10 月に当社グループが運営する保険薬局に来局した Erlo 服用患者 432 名の PPI と H₂RA の併用実績を調査した。また、当社グループの薬局プレアボイドから、併用を回避した事例を抽出した(アイングループ医療研究倫理審査委員会承認番号:AHD-0086)。

【結果】 Erlo 服用患者の PPI、H₂RA の併用実績は、それぞれ 30.8%、9.0%であった。また、以下のプレアボイド事例を確認した。70 歳代女性のランソプラゾール服用患者から Erlo 処方に応需し、「オメプラゾール併用で Erlo の AUC は 46%、Cmax は 61%低下する(添付文書参照)」「患者は PPI を服用中」「H₂RA を朝夕食直後、Erlo を食後2時間後の服用なら、Erlo の AUC は 15%、Cmax は 17%の低下となる(IF 参照)」という内容について処方医へ文書で情報提供した。次回受診時、ランソプラゾールから H₂RA に処方変更された。

【考察】 本事例では、Erlo の吸収特性を数値のエビデンスを基に処方医へ情報提供を実施し、効果的な治療継続に貢献できた。同一薬局での応需においても Erlo 服用患者の約 3 割に PPI の併用実績があるため、薬局薬剤師はかかりつけ機能による

服薬一元管理で併用を発見し、治療効果を最大化するためにエビデンスをもって医療機関へ情報提供する必要がある。

(第31回医療薬学会年会(2021年10月, Web)にて発表, 一部要約)